

国際教育導入プログラム(マレーシア、ベトナム)

学部1年生を対象としたフレッシュマンズグローバル人材育成プログラム

早稲田大学留学センターでは、大学生活を始めたばかりの学部1年生を対象に、アジアのダイナミズムを体感し、異文化に触れ、海外に滞在するためのノウハウを身に付け、実践力を鍛えることを目的としたプログラムを2014年度より開始しました。東南アジアらしさの中にも **フランスの伝統が薫るベトナム**、もしくは **イギリス連邦の伝統が残るマレーシア**を舞台に、1週間のチャレンジングなプログラムを敢行します。プログラム前にはオリエンテーションと事前学習、プログラム中にはフィールドワークと異文化体験、そしてプログラム後のまとめと学習内容という3つのステップを経ます。現地滞在中は、協定校である **ベトナム国家大学ハノイ校** **マラヤ大学**でそれぞれ授業を受け、現地学生と交流し、自ら選定した課題を調べるためフィールドワークし、それをまとめる作業を行います。大学生になった自己を鍛え、充実した学生生活のスタートを切りたい積極的な学生の参加を求めます。このプログラムを経験し、短期留学→セメスター留学・交換留学等に飛躍していくことを期待します。



1. 本プログラムの特徴

- (1) 春学期(集中)に設置される正規の授業科目です。出身学部は問いません。
- (2) これまで海外デビューを果たしたことがない学生にお勧めです。アジアの魅力を体感できます。
- (3) 事前学習の間に **ベトナム** **マレーシア**で調べたい課題を設定し、調査計画を立てます。
- (4) 現地滞在中には、課題の調査(インタビュー)、**ベトナム国家大学ハノイ校** **マラヤ大学**での授業体験と学生交流、市街視察、世界遺産見学、ホームステイなど、盛りだくさんの活動が含まれています。
- (5) 帰国後のまとめを行い、成果を発表した学生には2単位が付与されます。

2. 旅程案 諸事情により、変更となる場合があります。

	ベトナム		マレーシア	
4/29 (金)	(朝) 成田空港 発 (昼) ハノイ 着	大学寮泊	(午前) 成田空港 発 (夕方) クアラルンプール 着	大学寮泊
4/30 (土)	ロン・ホー絵画村 But Thap Pagoda 訪問	大学寮泊	世界遺産 古都マラッカ探索 ・ フィールドワーク(インタビュー)	大学寮泊
5/1 (日)	古き良きベトナム ドゥンラム村 ホームステイ	ホームステイ	カンボンスティ ・ フィールドワーク(インタビュー)	ホームステイ
5/2 (月)	ドゥンラム村 自転車ツアー・現地交流	大学寮泊	カンボンスティ ブトラジャヤ 訪問	大学寮泊
5/3 (火)	ハノイ市内観光 文廟寺院・民俗学博物館	大学寮泊	マラヤ大学留学体験 イントロダクション・プレゼンテーション	大学寮泊
5/4 (水)	日系企業訪問 キヤノン(予定) ベトナム国家大学ハノイ校留学体験 イントロダクション・プレゼンテーション	大学寮泊	首都クアラルンプール探索 フィールドワーク(インタビュー) フェアウェル	大学寮泊
5/5 (木)	自由行動・フェアウェルディナー ハノイ 発 成田(翌日5/6着)	機中泊	クアラルンプール 発 成田 着	帰着

3. プログラム内容

- (1) 事前学習 2016年4月 6時限(18:15~19:45) × 5回
- (2) 現地滞在: **ベトナム** 2016年4月29日(金)~5月6日(金) 7泊8日(最終日機中1泊予定)
マレーシア 2016年4月29日(金)~5月5日(木) 6泊7日(予定)
- (3) 事後学習 2016年5月 6時限(18:15~19:45) × 3回

4. 申込み・科目登録手続等

- (1) 対象: 早稲田大学 学部1年生入学予定者(合格が確定された方)
- (2) 英語力: TOEFL(iBT) 50-60、TOEIC(LR) 500-600、英検2級程度(基準以下でも応募可能)
- (3) 予定人数 それぞれ15名(最少催行人員:10名)

- (4) 参加費用 ベトナム約244,000円 マレーシア約222,000円（航空賃、宿泊費、一部現地交通費を含む）
 上記は概算です。変動する可能性があります。
- (5) 申込み: 3月中旬頃～21日、留学センターウェブサイト上にある、オンライン申込みフォームにてお申し込みください。応募者多数の場合、書類選考を実施します。
- (6) 結果発表 4月上旬までに 申請者全員に電子メールにて通知します。参加決定者には科目登録手続きをお知らせします。

2～4の最新情報は、留学センターのウェブサイトにて随時更新しますので、ご確認ください。
<http://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/short>

5. 滞在先の国と協定校

ベトナム

- (1) ベトナム社会主義共和国は、東アジア・東南アジアのインドシナ半島東部に位置し、南北に長い国土をもつ。北に中華人民共和国と、西にカンボジア、ラオスと国境を接し、東は南シナ海に面している。首都はハノイ、2010年に遷都1,000年を祝した。フランス植民地時代(19世紀～20世紀初頭)の面影を残す景観と、中世以降の文化遺産が数多く残る。約86%を占めるキン族の他、多くの少数民族が暮らす。公用語はベトナム語、通貨はドン(VND 10,000 = 約52円)。
- (2) ベトナム国家大学ハノイ校(ベトナム語: Đại học Quốc gia Hà Nội)は、首都ハノイにある国内最大の総合大学。首相直属の組織として、重要な役割を持つ。1906年に設立されたインドシナ大学をルーツとし、1993年に近隣の有効大学が統合され、自然科学、人文社会科学、外国語、工科、経済、法学、教育、薬科等における学術院、研究所、施設を擁する。



マレーシア

- (1) マレーシアは、東南アジアのマレー半島南部とボルネオ島北部を領域とする連邦立憲君主制国家で、イギリス連邦加盟国である。1957年に独立。タイ、インドネシア、ブルネイと陸上の国境線で接しており、シンガポール、フィリピンと海を隔てて近接する。ASEANの一員。ルックイースト政策により親日家が多い。アジア屈指の治安の良さを誇り、日常的に英語が通用する。マレー系、中国系、インド系が混住し、イスラム教(国教)、仏教、ヒンドゥー教が混在する多民族社会である。公用語はマレーシア語、通貨はリンギット。
- (2) マラヤ大学(マレー語: Universiti Malaya)は、マレーシア最初の大学。首都クアラルンプールの南西に750エーカー(3.0km²)のキャンパスが位置する。マレーシア随一の最高学府として知られている。人文&社会学部、環境学部、ビジネス&会計学部、コンピューター科学&情報科学部、歯学部、経済与行政学部、教育学部、工学部、言語学部、法学部、医学部、科学部を有する総合大学である。



問い合わせ: 早稲田大学留学センター gw-projects@list.waseda.jp